

支援学級担任を支える 特別支援教育コーディネーターの育成

学籍番号 189959

氏名 富山 敬介

主指導教員 木原 俊行

1 堺市の支援学級の現状と課題

本章においては、堺市の特別支援教育の現状を明らかにしつつ、堺市の支援学級担任が、授業や学校生活の指導・支援において、どのようなことに悩み、課題と感じているかを把握するため、アンケートとインタビューを実施した過程と知見を述べる。

2 対応策の検討

前章で明らかになった支援学級担任の困り感を解消するため、行政研修に着目したことについて述べる。さらに、堺市の特別支援教育に関わる研修の現状を把握し、支援学級担任の支援を、特別支援教育コーディネーターの育成によって実施することについて検討を行った経緯を示す。

3 特別支援教育コーディネーター研修計画

支援学級担任を支援する特別支援教育コーディネーターの育成を同僚に提案し、研修を実施できるようになったため、具体的な研修内容を計画した経緯を述べる。研修で活用するセルフチェックシート及びPDCAサイクルシートの作成、試行的実践について述べる。

4 第1回特別支援教育コーディネーター研修

第1回特別支援教育コーディネーターの計画、実践、評価についてまとめている。評価については、アンケート及びインタビューを実施して明らかになったことを報告する。

5 第2回特別支援教育コーディネーター研修

第2回特別支援教育コーディネーターの計画、実践、評価についてまとめている。評価については、アンケート及びインタビューを実施して明らかになったことを報告する。

6 特別支援教育コーディネーター研修の総括とさらなる充実

第1回、第2回の研修の評価を実施し、研修の成果をまとめる。研修に参加した特別支援教育コーディネーターだけでなく、同僚の支援学級担任及び校長にインタビューを実施した成果を述べる。さらに、評価結果を踏まえて計画した、次年度の研修を説明する。